

～ 「ASTERIA Warp」 をクラウド提供、成長する iPaaS^{※1} 市場へ展開を開始 ～
「IIJ クラウドデータプラットフォームサービス」 データ連携基盤として採用
90 種類以上のオンプレミスとクラウドサービスをノーコードで連携

アステリア株式会社（本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:平野洋一郎、証券コード:3853、以下 アステリア）は、ネットサービス大手の株式会社インターネットイニシアティブ（本社:東京都千代田区、代表取締役社長:勝栄二郎、証券コード:3774、以下 IIJ）と協業し、12月21日より提供される IIJ の「IIJ クラウドデータプラットフォームサービス」のデータ連携基盤としてアステリアの主力製品「ASTERIA Warp」（アステリア ワープ、以下 Warp）が採用されたことを発表します。

■ 「IIJ クラウドデータプラットフォームサービス」で Warp が提供する主な機能

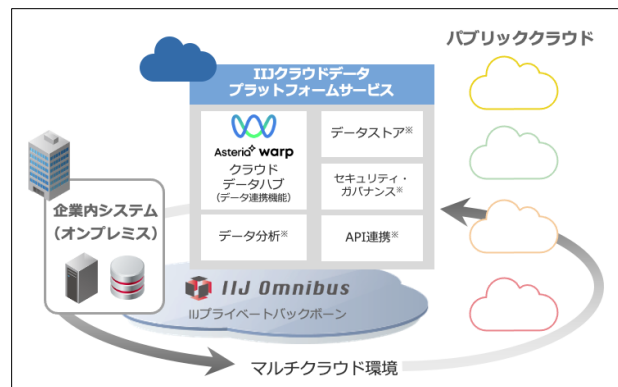
Warp は企業データ連携（EAI/ESB）製品においてソフトウェア市場 16 年間シェア No.1^{※2}を継続するデータ連携ツールです。今回「IIJ クラウドデータプラットフォームサービス」では、3つの製品ラインアップ（Warp Core+、Warp Standard、Warp Enterprise）をベースとして開発された3種のスペックを提供。また、多様なクラウドサービスやシステムと連携する約90種類のアダプターも搭載し、幅広いデータ連携をノーコードで実現します。

今回の採用により Warp がマネージド^{※3}のクラウドサービスとして提供され、これから大きな成長が見込まれている iPaaS 市場への展開を開始します。

主なアダプター	標準搭載	Slack、CSV、PDF、HTML、他
	オプション ^{※4}	Microsoft、AWS、Google、Salesforce、kintone、他
IIJ のサービスに組み込まれる 当社製品スペック (初期費用 0 円)	エントリー (120,000 円/月～)	Warp Core+ がベースの同サービス専用仕様。 最小限のデータ連携機能を搭載。
	スタンダード (290,000 円/月～)	Warp Standard がベースの同サービス専用仕様。 エントリー版に加え豊富なデータ連携機能を搭載。
	エンタープライズ (350,000 円/月～)	Warp Enterprise がベースの同サービス専用仕様。 スタンダード版に加え大規模大容量の処理が可能。

■ サービス提供開始と Warp 採用の背景

DX の推進や、デジタルガバメント、スマートシティ構想など社会全体で多様なデータを活用した取り組みが加速し、企業でもオンプレミスとクラウドを併用するマルチクラウド環境が普及を始めています。オンプレミスと複数のクラウドサービスなど、さまざまな場所に分散されたデータを連携し、自在に活用するニーズが高まる一方、マルチクラウド環境ではシステム間のデータ連携が複雑化し、データ連携機能の開発工数や費用、オンプレミスに蓄積された機密性の高いデータをクラウド上でセキュアに扱えるようにすることが課題となっていました。



そこで IIJ ではデータマスキング機能（機密性の高い情報の秘匿化）や、閉域接続サービスにより安全なネットワーク環境下でセキュアなデータ活用を実現し、マルチクラウド環境でのスムーズなデータ連携を実現するためデータ連携プラットフォーム「IIJ クラウドデータプラットフォームサービス」の提供を決定。データ連携基盤のエンジンとして、ノーコードでデータ連携の開発が可能かつ、豊富なアダプターを備える Warp が採用されました。

株式会社インターネットイニシアティブ（IIJ）は、オンプレミス環境に点在しているさまざまなデータを繋ぐため、「ASTERIA Warp（Warp）」の優れた UI や多彩なシステムとの連携機能に期待し、「IIJ クラウドデータプラットフォームサービス」のデータ連携機能におけるコアエンジンに Warp を採用しました。弊社はサービス提供を通して、企業のクラウド利用やデータ活用を促進し、日本市場の DX 推進に貢献してまいります。

IIJ 執行役員 クラウド本部長 染谷 直

■共同ウェビナー概要

開催日時	2023年1月25日（水）14:00～15:00
タイトル	オンプレとマルチクラウドのデータ連携を容易にする 「IIJ クラウドデータプラットフォームサービス」をリリース ～「簡単・セキュア・低コスト」にデータ活用を実現し、企業の DX を加速～
参加費	無料（事前登録制）
申込サイト	https://biz.ij.jp/public/seminar/view/22200
概要	<p>■DX を成功に導く、変化に強い柔軟なデータ連携基盤構築の重要性 アステリア(株) 営業本部 第一営業部 遠藤秀幸</p> <p>「データ資産」の価値が高まる中、社内外に散在するデータの形式が多岐にわたることがデータ活用を阻む一つの要因となっています。本セッションでは、ノーコード開発でデータソースの追加や変更に対応可能な柔軟かつ迅速に対応可能なデータ連携基盤を構築し、シームレスなデータ活用を実現するポイントを紹介。</p> <p>■IIJ が考えるデータ連携サービスとは？ ～ IIJ クラウドデータプラットフォームサービスの全貌～ (株)インターネットイニシアティブクラウド本部 サービス企画室長 鈴木透</p> <p>IIJ はマルチクラウド環境におけるデータのハブ「IIJ クラウドデータプラットフォームサービス」の提供を開始。本セッションでは IIJ が考えるマルチクラウド環境のデータ連携の課題、サービスのコンセプトや特徴をデモも交えて紹介。</p>

■今後の Warp ビジネスの展開

アステリアの Warp はビジネスを順調に拡大し、現在の導入社数は 9,800 社を突破するなど、企業データ連携市場（EAI/ESB）では 16 年連続シェア No.1 を継続しています。幅広い業界での DX 推進や改正電子帳簿保存法の施行に伴う連携ニーズに加え、インボイス制度対応におけるニーズも見込まれるなど、新たな引き合いも拡大しています。

今後も、Warp の多様なデータソースとの連携機能を様々な業界に拡販するとともにノーコードの特徴を生かし、IT 人材不足解消など社会課題解決に向けたデータ活用を支援し、業務の効率化・自動化等の推進に貢献してまいります。

- ※ 1：複数のクラウド環境上に分散している異なるサービスやアプリケーション同士を連携・管理するためのクラウドサービス
- ※ 2：テクノ・システム・リサーチ社「2022 年ソフトウェアマーケティング総覧 EAI/ESB 市場編」EAI/ESB は、それぞれ Enterprise Application Integration、Enterprise Service Bus の略で企業内外のデータ連携を司る製品カテゴリーを指す。
- ※ 3：サービスの利用に必要なソフトウェアの導入や運用、サポートなど業務を請け負うサービス
- ※ 4：オプションアダプターは各種追加料金が必要

<参考：IIJ プレスリリース> <https://www.ij.ad.jp/news/pressrelease/2022/1212.html>

■『株式会社インターネットイニシアティブ』について（Web サイト <https://www.ij.ad.jp/>）

株式会社インターネットイニシアティブ（IIJ）は、1992年、国内初の商用インターネットサービスプロバイダとして設立されました。現在では、IIJグループとして約13,000社の法人顧客に対して、インターネット接続、クラウド、セキュリティ等の各種ネットワーク・ITサービスから、システム構築や運用管理などのシステムインテグレーションまで、総合的なネットワーク・ソリューションを提供しています。

■『アステリア株式会社』について（Web サイト <https://www.asteria.com/>）

1998年に創業し、2002年に最初のノーコード製品の提供を開始したアステリア株式会社（当時インフォテリア株式会社）は、企業内の多種多様なコンピューターやデバイスの間を接続するソフトウェアやサービスを開発・販売しています。主力製品のASTERIA Warpは、異なるコンピューターシステムのデータをノーコードで連携できるソフトウェアで、大企業、中堅企業を中心に9,809社（2022年9月末現在）の企業に導入されています。また、Handbookは、営業資料や商品カタログ、会議資料などあらゆる電子ファイルをスマートフォンやタブレットで持ち運べるサービスのスタンダードとして、1,670件（2022年9月末現在）の企業や公共機関で採用されています。

■『ASTERIA Warp』について（Web サイト <https://www.asteria.com/jp/warp/>）

EAI/ESB製品の国内市場において16年連続シェアNo.1製品である「ASTERIA Warp」は、異なるコンピューターシステムのデータを、ノーコードで連携できるASTERIA Warpを主力製品とするミドルウェアです。メインフレームやクラウド上のサーバーから表計算ソフトまで、様々なシステム間の接続とデータの変換を行うロジックを複雑なプログラミングなしで行えることが評価されています。ASTERIA Warp Coreは、ASTERIA Warpの厳選された機能を初期費用0円、月額30,000円からのサブスクリプション形式で「手軽」にご利用いただけます。様々なシステムやサービスと迅速に連携することで業務自動化やデータ活用を実現します。

【プレスリリースに関するお問い合わせ先（報道機関窓口）】

アステリア株式会社 広報・IR部：長沼史宏・齋藤ひとみ

TEL：03-5718-1297 / 携帯電話：080-7709-5212（齋藤） / E-mail：press@asteria.com

【製品に関するお問い合わせ先】

アステリア株式会社 マーケティング本部：東出武也

TEL：03-5718-1250 / E-mail：pm@asteria.com

アステリア、ASTERIA、Handbookはアステリア株式会社の登録商標です。

本文中の商品名は、各社の商標または登録商標です。